

※参考※ Off the job Training 認定要件 2024 年 6 月から一部規定が変わりました

- ・2024 年 6 月以降実施のトレーニングについては、所定の条件を満たすものに限り 1.5 倍または 2 倍の係数を掛けてカウントできるようになりました。(オンライン OFFJT は適用外)
 - ・2024 年 6 月以降実施のトレーニングについては、**座学の時間はすべてカウント不可**となりました。
- また、係数に関わらず所定の証明書フォーマットをご利用いただくようお願いいたします。

【OFFJT 認定要件（基本原則）】

- 患者が対象ではないこと
- 上級医による指導があること
- 外科的手技および補助循環（人工心肺など）操作を含むこと（注）
- 「修練指導者」有資格者が企画・運営に参加していること
- 30 分（0.5 単位）以上であること
- 医師免許取得後の OFFJT のみが認定される（医師免許取得前のものは認められない）

注：OFFJT は本来、臨床判断や診断など臨床全体を包括する幅広い概念であり、侵襲的手技に限定した概念ではない。よって、ケーススタディやシミュレータを用いたエコー診断トレーニングなどの OFFJT 認定開始時期については今後検討を行う。

なお、30 時間の内訳には、特定の手術だけでなくバリエーションがあることが望ましい。

現行、以下のような例は OFFJT と認定します。

- ・病院内で指導医を相手に、布に連続縫合する練習をした。
- ・指導医に助手をしてもらい、血管吻合の動物実験をした。
- ・トレーニングセミナーで、人工血管で吻合の練習をした。
- ・人工心肺トレーニングセミナーで回路組み立てと操作を 1 時間した。
- ・技術講習会に参加し、ブタの心臓で弁置換の練習を 1 時間行った。

ただし、手技見学や講義の時間を含めてカウントすることはできません。

例：30 分の模擬手術見学後に 1 時間の実技 = 1 単位（1 時間分）

NEW

【経験時間の係数について】

2024 年 6 月以降に実施したトレーニング経験は、その内容に応じて、実技経験時間に以下の係数を認めます。基本原則は、すべて同じです。

係数の有無を問わず、座学時間はトレーニング経験時間としてはカウントできません。

主催側は、基本原則ならびに証明書発行の注意事項を確認の上、所定の証明書フォーマットに則り適切な受講証を発行してください。

経験時間数（単位） ×2 となる OFFJT

実技に先立って必要な座学を行い、且つ、以下のいずれかに当てはまるもの

- ・Cadaver を用いて行われたもの ※CST 時間÷1 献体あたりの人数×2
- ・動物組織、Simulator、3D printing model のいずれかの使用を必須とし、且つ、関係 3 学会(*)が関与する形で行われたもの

*日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会のいずれか

経験時間数（単位） ×1.5 となる OFFJT

実技に先立って必要な座学を行い、且つ、以下に当てはまるもの

- ・動物組織、Simulator、3D printing model のいずれかの使用を必須とし、且つ、関係 3 学会が関与しない形で行われたもの

経験時間数（単位） ×1 となる OFFJT

- ・その他のもの